

## カレンダー

(ゴチックは本号に掲載の記事)

会 期	集 会 名 ( 会 場 )	[ 掲 載 号 ]
学術集会・講習会		
2008年10月1日(水)~2009年2月23日(月)	平成20年度統計数理研究所公開講座	{ 442 }
12月24日(水)~2009年1月7日(水)	ウインター・サイエンスキャンプ'08~'09	{ 443 }
2009年2月1日(日)	第10回全国学校飼育動物研究大会	東京・東京大学弥生講堂一条ホール { 445 }
5月30日(土)~31日(日)	第12回マリノバイオテクノロジー学会大会	東京・早稲田大学大久保キャンパス63号館 { 445 }
6月23日(火)~26日(金)	第24回内藤コンファレンス「細胞核ダイナミクスとRNA」	{ 札幌市・シャトレゼガトーキングダムサッポロ { 445 }
9月18日(金)~20日(日)	日本植物学会第73回大会	山形市・山形大学小白川キャンパス { 445 }
国際会議		
2009年7月23日(木)~25日(土)	第11回外分泌腺機能国際シンポジウム徳島09 <b>The 11th International Symposium on Exocrine Secretion, Tokushima 09 Exocrine Secretion - Mechanism and Disease</b>	( 徳島市・徳島大学蔵本キャンパス { 445 }
9月20日(日)~24日(木)	国際甲殻類学会東京大会 (The Crustacean Society Summer Meeting, Tokyo, Japan)	{ 東京・東京海洋大学 { 440 }
公 募		
2008年12月25日(木)	( 財 )交流協会平成21年度事業応募者	{ 444 }
2009年1月12日(月)	第50回藤原賞	{ 445 }
15日(木)	平成21年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究, 応用研究, 環境改善計画のための研究・活動助成	{ 444 }
30日(金)	第50回科学技術映像祭参加作品	{ 445 }
2月20日(金)	第8回内藤記念若手研究者海外派遣助成金(春季)	{ 438 }
27日(金)	2009年度山田科学振興財団研究援助	{ 442 }
28日(土)	2009年度第4回「ロレアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞」	{ 445 }
3月31日(火)	平成21年度公益信託林女性自然科学者研究助成基金	{ 445 }
31日(火)	平成21年度公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金	{ 445 }

生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合の詳細については、本ニュースの巻末をご覧ください。

生物科学ニュース編集委員会 電話 03-3814-5461 (10時半から4時まで(水曜日のみ))

FAX 03-3814-6216 E-mail bsnews@bsj.or.jp

(社)日本植物学会, (社)日本動物学会へのお問い合わせは下記のとおりをお願いします。

(社)日本植物学会 電話 03-3814-5675 (9時半から4時半まで)

FAX 03-3814-5352 E-mail bsj@bsj.or.jp

(社)日本動物学会 電話 03-3814-5461 (9時から4時まで)

FAX 03-3814-6216 E-mail zsj-society@umin.net

(2)

## 学術集会

第10回全国学校飼育動物研究大会が、2009年2月1日(日)午前10時30分～午後5時)に、東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区弥生1-1-1)で開かれます。内容は次のとおりです。

テーマ：継続して飼育活動に関わることの教育的効果と課題

基調講演/口頭発表：1) 日常の自然活動や飼育活動を通して環境教育のあり方について考える、2) 学校獣医師制度8年が経過して - 八戸市学校飼育動物ネットワーク -、3) 馬宮西小学校の動物介在教育の取組 - 全学年の教科などに発展させる継続飼育体験 -、4) 学校全体での教室飼育の実践例の発表、5) 教室飼育が子どもに与える教育的効果についての調査結果(中間発表)、6) 継続飼育による子どもの観察力と変容についての一考察、7) 特別支援学級での動物飼育実践と保護者の反応/パネル発表：1) 子どもの絵にみるモルモットの飼育、2) 杉並区の動物飼育支援協定、3) 抱っこすると、あたたかいよ、4) いのちの大切さを自覚するどうぶつ飼育活動/大会終了後同所にて懇親会(会費2,500円)

対象者は、小学校・中学校・高等学校および幼稚園の教職員、PTA関係者、理科教育・生活科教育道徳教育などの教育研究者、獣医師、全国学校飼育動物研究会会員等 約300名ですが、一般参加も可能です。

参加費は500円で、事前に登録が必要です。詳細は同会のホームページ(<http://www.vets.ne.jp/school/pets/siikukenyukai.htm>)をご覧ください。

〔連絡先・全国大会事前登録先〕202-0023 西東京市新町5-16-29 全国学校飼育動物獣医師連絡協議会内 全国学校飼育動物研究会 事務局 TEL 044-53-7099 FAX 044-56-9086

第12回マリンバイオテクノロジー学会大会が、平成21年5月30日(土)～31日(日)に、早稲田大学大久保キャンパス63号館(東京都新宿区)で開かれます。内容は次のとおりです。

一般講演(口頭発表、ポスター発表)、シンポジウム(一般)、懇親会が行われます。

一般講演はつぎの9セッションを予定しています。1) 微生物、2) 微細藻類、3) 海藻・付着生物、4) 魚介類、5) 天然物化学・未利用資源、6) バイオミネラリー

セッション、7) マリンゲノム、8) 環境・環境適応、9) その他

懇親会は、5月30日(土)午後6時～8時)63号館第2教室で行われます。

発表希望の方は書式にしたがって、申込者氏名・所属および連絡先、発表希望セッション、希望発表形式、発表者氏名・所属略記(連名の方全員)、演題を明記の上、Web上より申し込んでください。発表形式：1) 口頭発表：一般講演は質疑を含み15分、液晶プロジェクター使用、2) ポスター発表：学生を対象とした優秀ポスターの表彰を予定。申し込みはホームページ経由で受け付けます。詳細は大会ホームページでご確認ください。発表申込の締切は平成21年3月13日(金)必着、発表要旨の締切は、平成21年3月31日(火)必着)です。

シンポジウムの企画を公募します。シンポジウムの企画をご希望の方は大会事務局までご連絡ください。

参加登録希望者は書式にしたがって、申込者氏名・所属および連絡先を明記の上、ホームページ経由で申し込んでください。詳細は大会ホームページでご確認ください。〔問合先〕大会事務局：162-8480 東京都新宿区若松町2-2 早稲田大学先端生命医科学センター 早稲田大学理工学術院先進理工学部生命医科学科内 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会 TEL 03-5369-7326 FAX 03-5369-7302 E-mail [assoc-marine@list.waseda.jp](mailto:assoc-marine@list.waseda.jp) 第12回大会ホームページアドレス <http://www.waseda.jp/assoc-marine/> 学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jsmb/index.html>

第24回内藤コンファレンス「細胞核ダイナミクスとRNA [ ]」が、6月23日(火)～26日(金)に、シャトレーゼ ガトーキングダムサッポロ(札幌市北区東茨戸132)で開かれます。内容は次のとおりです。

セッション：A) Polycomb, Stress and Epigenetics, B) Transcription Control and Chromatin, C) X-inactivation and Genomic Imprinting, D) Heterochromatin Formation, E) Transcription Control for Metabolic Pathway

参加方法は、財団のホームページから、ポスター発表する旨お申込みください。応募者の中から組織委員会において約60件を採択し、ご参加いただきます(参加費不要、宿泊費・食事は財団で負担、ただし交通費は自費)。選考基準は、1) ポスター発表の内容が優秀であること、2) テーマ関連で活発に研究している若手研究者であること、3) 英語で討論ができる人で、4日間を通して参

加できることです。なお、当日発表されたポスター演題の中から、組織委員会で優秀と認められた演題には特定研究助成金50万円を20名の方に贈呈いたします。演題応募締切は2009年1月22日(木)正午必着)です。

〔問合せ先〕(株)サンプラネット(担当 齋藤寿史) TEL 03-5940-2610 FAX 03-3942-6396 (財)内藤記念科学振興財団 事務局:113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKD ビル8F TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917 E-mail 24conference@naito-f.or.jp ホームページ <http://www.naito-f.or.jp>

---

## 国際会議

---

第11回外分泌腺機能国際シンポジウム徳島09 (**The 11th International Symposium on Exocrine Secretion, Tokushima 09 Exocrine Secretion - Mechanism and Disease**) が、平成21年7月23日(木)~25日(土)に、徳島大学蔵本キャンパス 長井記念ホール、薬学部インフォメーションプラザ(徳島県徳島市蔵本町3-18-15)で開かれます。内容は次のとおりです。

本会は形態学、生理学、生化学、薬理学、病理学、細胞生物学等のあらゆる分野で、唾液腺、膵臓、消化器官、上皮系組織、副睾丸、心臓、肺、腎臓等の種々の臓器・組織を対象に、第一線で活躍されている専門の研究者達を世界各国から招集し、開催するものです。同じテーブルで共通の課題、外分泌腺の機能、外分泌機構、外分泌腺異常・破綻による疾病等に関する最新の研究成果をご議論いただき、成果の摺り合わせを行い、新しい概念を模索すると同時に、臨床応用へ連結する芽を育むことを目的としています。

討論主題: 1) Development, Regeneration, and Tissue Engineering of the Glandular Tissue, 2) Response of the Glandular Tissue to Environmental Stress and Neural/Hormonal Control, 3) Regulation of Exocrine Grand by Taste Stimulation (\*Ajinomoto-sponsored session), 4) Signal Transduction of the Glandular Tissue, 5) Membrane Trafficking and Molecular/Cellular Dynamics in the Exocrine Secretion, 6) Aquaporin and Ion Transporter: Physiology and Disease  
\*No paper will be called with this session.

参加費は、一般発表者25,000円、大学院生発表者10,000円、一般参加者35,000円、大学院生参加者15,000円、学部学生 無料です。

懇親会は、7月23日(金)で、参加費は、一般10,000円、大学院生5,000円です。

申し込み方法は、事前登録で、詳細は後日ホームページに掲載します。

〔連絡先〕第11回外分泌腺機能国際シンポジウム 徳島09 組織委員会 学会ホームページ [http://www.dent.tokushima-u.ac.jp/seiri/11th\\_ISES/ISES\\_top\\_1.html](http://www.dent.tokushima-u.ac.jp/seiri/11th_ISES/ISES_top_1.html) E-mail 11th\_ISES@dent.tokushima-u.ac.jp 委員長 細井和雄(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授) hosoi@dent.tokushima-u.ac.jp 事務局:770-0845 徳島市蔵本町三丁目18-15 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 口腔分子生理学分野 担当者 赤松徹也(akamatsu@dent.tokushima-u.ac.jp) TEL & FAX 088-633-7324

---

## 公 募

---

第50回藤原賞の推薦が公募されています。

自然科学分野で、科学技術の発展に卓越した貢献をした人に、賞状、賞牌および副賞(1,000万円)が贈られます。賞は2件です。

応募を希望する方は、詳細を学会に問い合わせてください。締切は動物学会、植物学会とも、平成21年1月12日(月)です。学会への書類の提出の際に、オリジナル以外に、動物学会は7部、植物学会は2部のコピーが必要です。

第50回科学技術映像祭参加作品が募集されています。

科学技術に関する優れたテレビ番組や映画、ビデオ作品などの参加作品を募集しております。科学技術に関する作品であれば、個人制作作品も受け付けています。基礎研究部門については特に研究業績発表のために用いた映像も研究発表資料とともに審査いたします。申込書はホームページよりダウンロードできます。

募集分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」「マルチメディア」など6部門です。

募集対象は、日本所在の映像製作者、企画者(企業等)、テレビ局、研究機関、及び個人で2008年2月1日~2009年1月31日までに完成(予定)または放映した科学映像作品です。

賞の内容は、最優秀作品賞(内閣総理大臣賞)1作品、文部科学大臣賞14作品(以内)です。応募締切は、2009

(4)

年1月30日(金)です。

〔応募・問合せ先〕 102-0091 東京都千代田区北の丸公園  
2-1 日本科学技術振興財団 振興事業部内 科学技術  
映像祭事務局 TEL 03-3212-8487 FAX 03-3212-0014  
E-mail filmfest@jsf.or.jp ホームページ <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

2009年度第4回「ロレアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞」が募集されています。

世界規模で展開するロレアル - ユネスコの女性科学者を支援する共同プロジェクトの理念を継承し、将来を担う日本の若手女性研究者が国内の教育・研究機関において研究を継続できるよう、奨励しています。生命科学、物質科学の分野からそれぞれ1年2件(2名)、計4件(4名)を選考し、賞状と奨学金100万円を贈呈します。

対象は、生命科学、物質科学の分野において、博士課程(後期課程)に在籍または、博士後期課程に進学予定の40歳未満の女性で、交付後1年間、国内で教育・研究に従事できる方です。

応募方法は、指導教員による推薦で、応募要項は日本ロレアルウェブサイト(<http://www.nihon-loreal.co.jp>)からダウンロードできます。封筒に「ロレアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞」応募書類と必ず明記の上、必要書類を下記送付先にご郵送ください。\* E-mailでの応募は受け付けておりません。応募の締切は、2009年2月28日(土)締切日の消印有効)です。2009年に東京で開催予定の授賞式にて発表します。

〔書類送付先〕 163-1071 東京都新宿区西新宿3-7-1  
新宿パークタワー 日本ロレアル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部 「ロレアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞」事務局

〔問合せ先〕 「ロレアル - ユネスコ女性科学者日本奨励賞」事務局 E-mail [fwis-japanfellowships@jp.loreal.com](mailto:fwis-japanfellowships@jp.loreal.com)

平成21年度公益信託林女性自然科学者研究助成基金の助成対象者が募集されています。

わが国の大学、国立または非営利事業財団等の研究機関において、自然科学(化学及びそれに関連ある物理学・生物学)の基礎研究に従事する女性研究者(国籍を問わない)に対し、次の助成が行われます。1) 研究助成: 15件程度、総額約2,000万円。/ 2) 林フェロー: 博士号を目指す研究者(100万円)5名程度。2年間助成。/ 3) 国際研究交流助成(国際研究集会での研究発

表、海外での共同研究のための渡航): 年10件程度、総額150万円。

申込締切は、2009年3月31日(火)です。3)については受託者に問い合わせてください。申請書は中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。( [http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k\\_topm.html](http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html))

〔申込・問合せ先〕 105-8574 東京都港区芝3-33-1 中央三井信託銀行本店法人営業部公益信託課 林基金担当  
TEL 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919 E-mail  
[Masami\\_Saito@chuomitsui.jp](mailto:Masami_Saito@chuomitsui.jp)

平成21年度公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金の助成対象者が募集されています。

わが国の大学、国立または非営利事業財団等の研究機関において、自然科学(化学及びそれに関連ある物理学・生物学)の基礎研究に従事する女性研究者(国籍を問わない)に対し、次の助成が行われます。山村フェロー: 博士号を取得している女性研究員(200万円)2名程度。2年間助成。申請締切は2009年3月31日(火)です。申請書は中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。( [http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k\\_topm.html](http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html))

〔申込・問合せ先〕 105-8574 東京都港区芝3-33-1 中央三井信託銀行本店法人営業部公益信託課 山村基金担当  
TEL 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919 E-mail  
[Masami\\_Saito@chuomitsui.jp](mailto:Masami_Saito@chuomitsui.jp)

## 寄贈図書の書評希望者募集

生物科学ニュース編集委員会では、本委員会に寄贈されました下記の本の書評希望者を募集いたします。謝礼と致しまして書評した本を差し上げます。希望者は編集委員会まで葉書、FAX または E メールでご連絡ください。書評をお願いする場合は本と執筆要領をお送りいたします。但し希望者多数の場合、どなたをお願いするかは編集委員会に一任願います。尚、出版社より編集委員会に書評依頼のあった単行本以外の書評、および書評の投稿は受け付けておりませんのでご了承ください。お書きいただいた書評は、生物科学ニュースのみならず、日本動物学会および日本植物学会のホームページにも掲載される場合があります。この点を、あらかじめご了承ください。

分子遺伝学入門 - 微生物を中心にして - 東江昭夫著

260頁 2007年 裳華房 2,600円(本体価格,以下同)/コア講義 分子生物学 田村隆明著 132頁 2007年 裳華房 1,500円/昆虫の保全生態学 渡辺 守著 190頁 2007年 東京大学出版会 3,000円/細胞[基礎分子生物学第3巻] 猪飼 篤,川喜田正夫,星 元紀編集 黒岩常祥,三角修己,高野博嘉,伊藤竜一,松永幸大著 152頁 2008年 朝倉書店 3,400円/ポピュラー・サイエンス284 細胞膜のしくみ - 構造と機能 - 八幡義人著 200頁 2008年 裳華房 1,600円/ポピュラー・サイエンス285 バイオインフォマティクス - 生命情報学を考える - 館野義男著 140頁 2008年 裳華房 1,500円/文系のための生命科学 東京大学生命科学教科書編集委員会編 159頁 2008年 羊土社 2,800円/生物学第2版 石川 統編 守 隆夫他著 232頁 2008年 東京化学同人 2,400円/免疫学はやっぴりおもしろい 小安重夫著 238頁 2008年 羊土社 2,800円/大阪市立自然史博物館叢書 - (3) 干潟を考える 干潟を遊ぶ 大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター編著 159頁 2008年 東海大学出版会 2,500円/生物学オリンピック問題集 国際生物学オリンピック日本委員会編 125頁 2008年 羊土社 1,600円/からだをまもる免疫のふしぎ 日本免疫学会編集 69頁 2008年 羊土社 1,800円/微生物学 - 地球と健康を守る - 坂本順司著 190頁 2008年 裳華房 2,500円/学術選書 035 ヒトゲノムマップ 加納 圭著 401頁 2008年 京都大学学術出版会 2,200円/ミクロの世界の仲間た

ち アーサー・コーンバーグ著 宮島郁子訳 新井賢一監修 86頁 2008年 羊土社 2,500円/医学・医療系のための生物学の基礎知識 - 生命の誕生・くすり・再生医療まで - 都河明子著 190頁 2008年 丸善 2,000円/「理科少年」が仕事を変える,会社を救う - 「人性」をイノベーションする新思考法 - 出川 通著 191頁 2008年 彩流社 1,500円/ファーストブック 生命科学がわかる - 生物の生きるしくみをミクロの視点で理解する - 工藤佳久,都筑幹夫著 205頁 2008年 技術評論社 1,780円/コア講義 生物学 田村隆明著 198頁 2008年 裳華房 2,300円/化石の記憶 - 古生物学の歴史をさかのぼる - 矢島道子著 219頁 2008年 東京大学出版会 3,200円/クーパー細胞生物学 Geoffrey M. Cooper, Robert E. Hausman 著 須藤和夫,堅田利明,榎森康文,足立博之,富重道雄訳 692頁 2008年 東京化学同人 7,800円/岩波科学ライブラリー151(生きもの)ハダカデバネズミ 女王・兵隊・ふとん係 吉田重人,岡ノ谷一夫著 118頁 2008年 岩波書店 1,500円/ニホンカワウソ - 絶滅に学ぶ保全生物学 - 安藤元一著 233頁 2008年 東京大学出版会 4,400円/平成21年理科年表 国立天文台編 1060頁 2008年 丸善 1,400円  
〔連絡先〕113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集委員会 FAX 03-3814-6216 E-mail chu@hc.cc.keio.ac.jp または sawa@biol.s.u-tokyo.ac.jp

関連記事掲載を御希望の方は、「生物科学ニュース」最新号を参照の上、記事を簡潔にまとめ、下記編集局宛にお送り下さい。編集委員会が関連記事と認めた場合には無料で掲載させていただきますが、様式の統一のため記事の手直しを行なうことがあります。なお、編集委員会では記事の要約表現の改訂を独自に行なうことがあります。また学会や研究会が独自の記事を出したい時には、その都度必要なスペース（“ひろば”欄）を買い切ることができます。“ひろば”の校正は買い切られた方をお願い致します。

料金：1ページ（2,000字） 40,000円  
1/2ページ（1,000字） 20,000円  
1/4ページ（500字） 10,000円

記事送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集局

原稿をお送り下さる場合、以下の点にご留意下さい。

1) 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局 (bsnews@bsj.or.jp) に、電子メールの本文または添付書類（テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。）で、Subject に「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス（03-3814-6216）にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。

2) 現在のところ、書評欄への投稿は受けつけておりません。

3) 掲載原稿の締切日（必着）は以下の通りです。

No.447 2009年3月号 2009年1月13日（火）  
No.448 2009年4月号 2009年2月16日（月）  
No.449 2009年5月号 2009年3月9日（月）  
No.450 2009年6月号 2009年4月13日（月）

---

生物科学ニュース No.445 2009年1月（月刊）

定価 270円（消費税込）

運営委員会

社団法人 日本動物学会 久保英夫・鈴木 忠・吉田 学 (<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/zool/>)

社団法人 日本植物学会 永田典子・澤 進一郎・小関良宏 (<http://bsj.or.jp/>)

編集委員会

社団法人 日本植物学会 岩井宏暁・植村知博・水澤直樹・本瀬宏康・澤 進一郎（幹事）

社団法人 日本動物学会 阿部秀樹・佐藤 恵・立花和則・広橋教貴・鈴木 忠（幹事）

---

発行 (社)日本動物学会・(社)日本植物学会 生物科学ニュース編集委員会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2  
東真ビル / FAX 03-3814-6216

印刷 昭和情報プロセス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田5-14-3 TEL 03-3452-8451

---

購読申込：生物科学ニュース編集委員会 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル  
FAX 03-3814-6216

---